



まくべつ

わたしたちのまち

(昭和62年10月1日現在)

人口	21,711	(+19)
男	10,610	(+14)
女	11,101	(+5)
世帯数	6,674	(+3)
一人のうごき(9月中)		
転入	57人	転出 55人
出生	25人	死亡 8人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



感動のドラマ、サケの産卵

大樹町の沖合で捕獲し、ふるさと館で飼育されていたサケ13匹(オス5匹・メス8匹)が10月17日から次々と産卵を始め、感動のドラマが繰り広げられました。最初の産卵は17日午後9時半ごろで、メスが尾ビレで掘った砂利のくぼ地に雌雄が寄りそって産卵、受精が行われました。この卵、12月上旬にはふ化が始まります。

62年 **11**

No.430

使用料等審議会

水道料
引上率

上・下水道料金の改定を答申

四〇%の諮問に対し二〇%の答申

十二月の町議会で審議に

五ト未満の水道使用料は値下げの内容

今年七月に町から水道料金改定などについて諮問を受けていた使用料等審議会(木川拓二会長)は、諮問での引上率を大幅に下回る内容の答申書をこのほど林町長に提出しました。

答申書によると水道使用料については、引上率四〇・五五%の諮問に対して二〇%の引上率に、下水道使用料については、平均約六〇%の引上率に対して一八・七一%とする内容になっています。実施時期等については来年四月納入分からで、三年間据え置くこととしています。町では答申書の内容を尊重して、十二月の町議会に料金改定を提案する予定でいます。以下、答申書の内容を紹介します。

水道使用料

■引上率は二〇%に

諮問では現在の料金のままでいくと、昭和六十四年度末には二億円を超す資金不足が見込まれることから平均四〇・五五%の引上率をもって対処しなければならぬという内容になっていました。これに対して答申では、受益者負担を原則としながらも、住民生活へ与える影響と公共性を考慮して引上率を平均二〇%に抑え、収入減については企業努力により費用の

節約および政策的判断によって賄うべきであるとしています。

■口径別料金制を採用

現在の料金体制は家庭用、営業用など九つに分類された用途別料金制をとっていますが、諮問および答申ともに用途別の分類やその適用基準が不明確であることから口径別料金制を採用すべきとしています。口径別とは料金の格差基準を各家庭や営業所に引く給水管もしくはメーター器の大小に置き、口径別で基本料金に差をつけることが公平であるとしています。

■一般家庭ではいくらに：

答申書の内容どおりに議会で議決されまると、一般家庭(口径十三ミリ、二十ミリ)では一カ月の基本料金が八百円で、一ト使用することにより百七十円の水量料金が加算されることとなります。具体的には次のとおりです。(内は現在の料金。・三ト基本料金八百円プラス水量料金五百十円(百七十円×三ト)で千三百十円(千八百円)

・五ト基本料金八百円プラス水量料金八百五十円(百七十円×五ト)で千六百五十円(千八百円)
・十ト基本料金八百円プラス千七百円で二千五百円(千八百円)
・十五ト基本料金八百円プラス二千五百五十円で三千三百五十円(二千五百五十円)

このように五ト未満までは現在より安く老人家庭等福祉対策となり、また使用量一トごとに料金が違いますので節水を図られるとしています。

■簡易水道等

簡易水道、営農用水道、飲料水供給施設の水道使用料金については、現在の種類別及び用途別料金体系を継続し、二〇%の引上率とする内容になっています。

下水道使用料

諮問では下水道事業の運営にかかる維持管理費を使用者に負担してもらうとして、平均で約六〇%の引上げが必要とする内容になっていました。これに対して答申では、使用料の大幅な引上げは水洗化の普及促進に悪影響を及ぼす恐れがあることや、住民生活に与える影響を考慮して、引上率を平均で一八・七一%とする内容になっています。具体的には十トまでの基本料金を千五百十円(現行は九百十円)、超過料金は一ト当たり百十円(同九十円)とする料金になっています。



林町長に答申書を渡す使用料等審議会の木川会長

着々と進む町づくり

深まる秋と競うように、町が進める各所の建設工事が追い込み期に入っています。

町では今年度も道路、上下水道、住宅などの生活環境や学校教育、社会教育施設の整備に取り組んでおり、年内の完成を目指して急ピッチで工事が進められています。

着々と進む今年度の町づくりの中から、主なものを紹介します。



中里小学校屋内体育館

十勝管内に唯一屋内体育館のなかった中里小学校に体育館を建設しています。

校舎の西側に建設中の体育館は504平方メートルの広さで、アリーナ、ステージの外、地域の人たちにも利用してもらうための学校開放用の玄関、水飲み場などが設けられます。事業費は約1億百万円で、12月20日に完成の予定です。



老人健康増進センター

冬期間でもゲートボールを楽しめるようにと、完内ゲートボール場としての老人健康増進センターを南町に隣接する軍岡に建設中です。約600平方メートルの面積で正式のゲートボールコートを1面設置します。事業費は3,660万円で、使用開始は11月下旬の予定。



公 営 住 宅

寿町に1棟8戸(3LDK)を建設中です。セラミックブロック造りで、1戸当たりの面積は約68平方メートルとなっています。

事業費は約6千万円で、11月下旬には入居できる予定です。



札中グラウンド夜間照明

札内中学校のソフトボール場に夜間照明を4基設置しました。1基にナトリウム灯などが8灯ついています。10月12日にグラウンド開きを行いました。事業費は約1,450万円です。



中継ポンプ場

下水道の汚水を終末処理場まで圧送管で送るための中継ポンプ場を東春日団地春側に建設中です。今年は建物だけで、来年度から機械等の設備を設置します。



相川西近隣センター

相川西近隣センターを相川小学校の西側に建設中です。セラミックブロック造りで広さは137平方メートル。事業費は約1,500万円で、年内には使用開始できる予定です。

爽りの秋を満喫

第10回産業まつり

町観光協会（大久保正司会長）主催の第十回産業まつりが十月四日、依田公園一帯で開かれました。会場には、秋の味覚と多彩な催し物を楽しもうという家族連れなど二万人の人数でにぎわいました。コイのつかみどりや子供縁日広場などのユニークな企画や、全十勝相撲選手権大会、歌謡ショー、カラオケ大会などが人気を集めていました。



人、人、人。天候にも恵まれ2万人を超す人出がありました



子供縁日の輪投げ。入ったかな



熱戦を繰り広げた全十勝相撲選手権



歌謡ショーに出演した
千葉紘子さん



芝生の上で秋の味覚を満喫



長さ30メートルの鉄板で焼いたポテトステーキの味は格別



幕別が生んだスター長谷教亭
さんの歌謡ショー



つかまえたよ！



人気のコイのつかみどり。さあ、スタート



各種売店では飛ぶような
売れ行き

日本初のサケの川釣り

サーモンダービーに94人が参加



日本で初めてのサケの川釣り「サーモンダービー」が十月七日から十一日までの五日間、糠内市街を流れる猿別川で行われました。

この事業はサケ釣りをスポーツフィッシングとしてとらえ、河川の占用許可やサケの特別捕獲許可などを道から受けて、幕別や帯広などの若手経営者らが「サーモンワールド共和国」を組織して運営したものです。釣り場区域は糠内の厳橋から上流二・五キロの間を網で仕切って設定し、千代田えん提と大津沖で捕獲した雄サケ二百三十

三匹に一匹ずつ標識をつけて放流しました。

釣り客の参加料は一人一日一万円で、期間中に九十四人の釣りファンが参加しました。そのうち七人が道外からの参加者でした。期間中には連日大ぜいの見物客も訪れ、また、サケ学習を兼ねた児童生徒の一団の来訪もありました。

サーモンワールド共和国の憲法では、釣りはルアーに限り、一匹目は無料、二匹目が有料、三匹目からはリリース（解き放し）することになっていましたが、実際に釣り上げられたサケは十一匹だけという結果でした。これはサケの動きが鈍く、食い付きが悪いことが原因と思われ、来年度以降の研究課題となりそうです。

参加者の大半が釣果ゼロという結果でしたが、参加者の評判は良く、自然のだいご味を満喫したようでした。サーモンダービーの結果は五八三〇匹のサケを釣り上げた地元幕別の小尾公一さんがグラントチャンピオンに輝きました。



体長85センチ、体重5,830グラムのサケを釣り上げグラントチャンピオンに輝いた小尾公一さん



みやもと ちかはる
宮本 千春さん (23歳)
文京町33
▼江陵高校▲
今年の冬は
スキーに挑戦

勤めて3年ちょっとになります。事務を担当していますが、明るい職場ですし、校舎の周りの自然環境も素晴らしいので毎日楽しく仕事をしています。読書が好きで学校の図書室からよく本を借りて読んでいます。作家では渡辺淳一なんか好きですね。休日にはもっぱら友だちと食べ歩きをしています。今年の冬はスキーにチャレンジしようと思っています。

こんにちは 27

全国普及ヘワンステツプ

全国レクリエーション大会で紹介



コミュニティ
スポーツ

幕別町で生まれた
パークゴルフ

第四十一回全国レクリエーション大会が山形市の蔵王温泉を主会場として開かれ、その中でパークゴルフの紹介が行われました。

この大会は、全国のレクリエーション関係者が集って情報交換などを行い、レクリエーションの日常化を図ろうという目的で毎年一回開催されています。来年度は函館市での開催が予定されています。大会には全国からレクリエーション関係者、教育委員会職員、体育指導委員ら五千三百三十五人の参加がありました。また海外からは、アメリカ、イギリス、台湾から十一人が参加しました。本町からはパークゴルフ協会の役員、教育委員会職員、用具のメーカー関係者ら八人が参加しました。

紹介の方法は十月十七日に行われる実技指導に重点を置く予定で、前日の十六日にこちらから持参したカップなどを埋め込み、芝生を



盛大に行われた全国レクリエーション大会

ルやマナー、楽しさなどを盛り込んだビデオテープ「レッツ・パークゴルフ」を持参していたため、このテープの上映により、パークゴルフの楽しさを十分理解してもらえました。またパンフレットを三百部持参しましたが、これも全てなくなるといふ人気ぶりでした。地元の蔵王温泉や隣の天童市からは早くも導入したいという打診もあり、既にコースを持つている長野県の志賀高原と合わせて、全国普及へのワンステツプとなりそうです。

昭和53年に幕別、大豊、新川、西猿別の各小学校を統合して新校舎で開校した幕別小学校の開校10周年記念式典が10月25日、同校体育館で行われました。式典には在校生、歴任教職員、PTAらが出席し、10年の節目を祝い合いました。



幕別小学校が開校十周年

道警音楽隊の演奏会が十月十日、幕別運動公園で行われました。八木節やテレビアニメの主題歌などおなじみの曲をじっくりと聞かせた後、カラーガード隊も入って華麗で勇壮なドリル演奏を披露し、詰めかけた大ぜいの聴衆を魅了しました。



華麗で勇壮なドリル演奏を披露



マラソン大会に400人が力走



第十八回開町記念マラソン大会が体育の日十月十日、幕別市街地で行われました。小学生から大人まで約四百人が参加し、トレセン前から一斉にスタート。参加者は秋空の下で元気いっぱい力の走を見せ、さわやかな汗を流しました。

お年寄りの学習の場である「しらかば大学」の大学祭が10月14日、町民会館を主会場に開かれました。大学祭では作品展やうたごえ発表などが行われ、日ごろの学習の成果を大いに発揮していました。



青春してます「しらかば大学祭」

幕別 ⑧ 続・ものがたり

佐藤春夫は明治二十五年和歌山県新宮町に生まれ、昭和三十九年五月、七十二歳の時に心筋コウソクで他界。春夫の父・豊太郎は新宮町熊野医院の九代目の医者であった。

彼は老後を春夫と共に北海道に渡り、農場でも経営してみたいという夢を抱いていた。明治三十一年八月下旬、函館から室蘭を経て十勝の玄関といわれた十勝川河口にある大津港へと通う定期船・末広丸に豊太郎は乗り込んだ。十勝に着き約一カ月の視察をした結果、十勝原野十弗に農場用地二十戸分約百町歩の土地の貸付けを受けている。

明治四十一年春夫は、中学三年の八月に父が仮住まいとして住んでいる止若村を初めて訪ねた。池田の手前の利別駅で下車し、駅で買ってもらった東郷まんじょうを抱えて、一里ばかりの山野の道を迎える馬車に乗り、灯ともしごろ止若村に着いた。

当時の止若は、森林の片隅を開いたばかりの所に、幅の広い道に沿ってバラック小屋七・八軒が軒を連ねていた。その外れの小川

文学者佐藤春夫と止若村 宵待草の茂みで戯れた少年の日々

だが溝だかの片わきに父の家があった。元は穀物所か何か、それともこの辺一帯の家づくり風か、間口の広い、その半分以上は土足で踏み込む板張りの土間があった。その片わきが四畳半と六畳ぐらいの二間つづきで、表側の四畳半の前には何やら大きな雑木があり、家の裏には馬小屋があった。

春夫は父が熊野から連れてきた薬局生(現在の帯広仁生堂)の若者と一緒に、毎日夕方になると馬小屋から馬を出して、家の前の広いまっすぐな道(猿別道路)を十勝川の一支流らしい流れ(猿別川と思われる)のそばの宵待草のしげみで馬を洗うのを日課にしていたが、そのうち乗ることを習いおぼえ、危かしい乗馬を慰みにした。

父の家の附近は、やや大きな家がまばらで、向かい時計屋か何かであった。すぐ向こうには雑木が十本ばかりまばらに立ち、その奥には種馬屋が馬と一つ屋根の下に住んでいたのが物めずらしかった。また、白人(チロット)とかいったアイヌ部落を馬車で見物に行つたのもよく覚えていた。

春夫には十弗郵便局長をつとめた竹田夏樹という実弟がいたが、今年の一月に他界した。(記・ふるさと館郷土史部会・斉藤すみ子)

広報クイズ⑧

500円の図書券が当たる

三つの答えの中から正しいものを選び、はがき
に書いてお送りください。

- ①今年もふるさと館でサケの産卵が行われましたが、卵がふ化するのは
A11月上旬 B12月上旬 C12月下旬
- ②サーモンダービーに参加したのは
A94人 B104人 C124人
- ③パークゴルフの紹介が行われた全国レクリエーション大会の主会場になったのは
A蔵王温泉 B草津温泉 C熱海温泉
- ④10月25日に開校10周年記念式典を行った小学校は
A白人 B札内北 C幕別
- ⑤町教委では、今年も海外研修に2人を派遣しますが、次のうち訪問しない国は
Aイギリス Bスペイン C西ドイツ

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えてください。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃くかいてください。

★あて先＝☎089-06 幕別町本町130

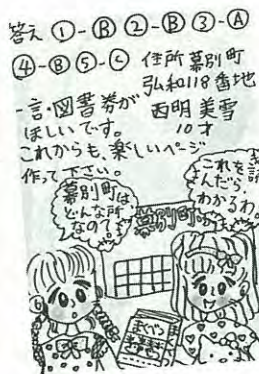
役場内・広報係

★締め切り＝11月16日(16日の消印有効)

★前回の正解は、①-B、②-B、③-A、④-B、⑤-Cでした。応募34通で全員が全問正解。抽選で次の5人が当選しました。

(敬称略)

土井昌子(14・春日町) 今井豊志(36・晩町) 上田めぐみ(10・桂町) 森本奈奈(11・若草町) 田辺ふじの(?・桜町)



ほんの一言

☺...これで3回目。早く図書券がほしいー。↓あかしや町 吉田幸広(二)

☺...ええ、オッホッ！私は図書券めあてで送ったとちがいます。広報のために送ったのです！...だけど図書券ほしいです。よろしく↓明野 北原(すえ)(二)

☺...としょけんあたりですように。↓南町 石坂鈴恵(七)

☺...図書券で趣味の園芸の本を買うと使い道は決まっていますけど、カンジンの図書券が当たらないことには...。↓千住 渡辺秋(五)

☺...毎月広報を楽しみに読んでいます。幕別全体のいろいろな事がよくわかり、身近な感じがします。↓南町 高橋マツ(六)

☺...図書券ありがとうございます。再度チャレンジしてみました。坂↓あかしや町 大阪みどり(七)

坂↓あかしや町 大阪みどり(七)

東京で初の物産展

目黒区民まつりに出展

町観光協会、町商工会、町特産品開発推進協議会の三団体が十月四日、東京の目黒区で初の「まぐべつ物産展」を開催しました。

この物産展は町柔道少年団(安部政夫会長)が五十四年から交流を続けている縁で実現したもので、当日は幕別産のマークイン三千キとカボチャ千五百キを完売しました。三団体ではこれを機会に全国各地での物産展の開催に期待を寄せています。

小林翠山さんから町へ書の寄贈

糠内中学校の元校長で現在帯広市に在住している書家、小林翠山(すいざん)さんから町へ二点の書の寄贈がありました。

寄贈された作品は、一点は「晩雲」、もう一点は「寿感極」と書かれており、それぞれ役場庁舎の応接室と町民会館の一階和室に展示されています。小林さんの作品はパリの美術展でも入賞しており、今後の益々の活躍が期待されています。

猿別水門が完成

雪どけ増水もう大丈夫



ゲート始動のスイッチを押す林町長ら関係者

昭和五十九年から四カ年計画で建設工事が進められていた「猿別水門」が完成し、十月十四日に現地で竣工式が行われました。

「猿別水門」は猿別地区の内水はならん防止を目的に帯広開発建設部が猿別川と旧途別川の合流点に四年の歳月と約十億二千六百万円を投じて建設したものです。猿別地区の内水対策はこれまで昭和八

年築造の「猿別樋（ひ）門」で行ってききましたが、小規模で川水の流過能力が低いうえ、旧途別川が原始河川と同様に蛇行が著しいため、たびたび春先の融雪水などにより畑が冠水することがありました。

完成した水門は幅三十二・五メートル、高さ二十メートルのタワの間に幅十五メートルのゲートが二連はめ込まれており、ゲートを上下させて川水を遮断したり流過させる仕組になっています。

竣工式には約六十人が出席し、林町長らがゲート始動のスイッチを押すとゲートがゆっくりと下降。

32 今年も五人の児童をカナダへ派遣

ひと

札幌南小学校でサケ学習を担当している
ヤマザキのりこさん
山崎紀子さん
(札幌南小学校・48歳)

サケ友の会と北方圏センターが毎年実施しているカナダサケ学習派遣団に今年も札幌南小学校の児童五人が参加します。同校でサケ学習を担当しているのが山崎紀子さんです。

「札幌南小学校がサケ学習に取り組んだのは昭和五十六年の秋からで、ふるさと館で産卵したサケの卵を分けてもらったのがきっかけです。私自身がサケ学習の担当になったのは昨年からです。まだ経験は浅いんですよ。国際交流の方は、サケ学習を通してカナダのエリ

ックラントン校と五十八年十月から交流をしています」

「カナダサケ学習派遣団への参加は今年で三年目で、一昨年は一人、昨年は七人、今年は五人が参加します。来年三月二十二日に出発し、カナダ・バンクーバー市のメイプルウッド小学校を訪れ、ホームステイをしながら三十一日までの滞在中にサケ学習を通じて、国際交流を図ることになっています。参加する五人の子供たちには、いい思い出をつくってほしいと思います。帰国後の報告会が楽しみです」

昭和十四年五月一日生まれ。ご主人と子供二人の四人家族。

海外研修に2人を派遣

杉山さんと市丸さん、欧州5カ国を訪問



猿別川と旧途別川の合流地点に完成した猿別水門

クス玉が割れ「ばんざい」の歓声が上がり、竣工を祝いました。

町教育委員会では、広く諸外国の社会教育事情を視察研修し、国際的視野を広め、地域づくりのリーダーとなることを期待して海外へ派遣する町民を募集していましたが、このほどその二人が決まりました。

派遣されるのは杉山勝彦さん(幸町・四十歳)と幕別町農協勤務と市丸珠己さん(旭町・五十一歳)です。

会社員。二人は十勝生涯学習セミナー海外研修の一員として、十一月十七日から十二月一日の十五日

間にわたりイギリス、フランス、西ドイツ、スイス、デンマークの五カ国を訪問する予定です。各国では社会教育施設や社会福祉施設の運営や活動を視察研修するほか、民泊による各国の家庭教育などの研修も行われます。

「寄付ありがとうございます」

町へ:

▽MOA帯広十勝交通安全推進キャンペーン実行委員会(峯俊博委員長) から十六万七千四百八十二円
▽佐藤愛子さん・正美さん(帯広市)から五万円
▽(株)朝日産業(齊藤修悦代表)からパークゴルフ場芝生用肥料百袋

■社会福祉協議会へ:

▽美濃政市さん(糠内)から一万円
▽佐藤良子さん(泉町)から七千円
▽池上幸一さん(緑町)から二万円

■老人クラブへ:

▽緑町老人クラブへ柿崎ハルエさん(緑町)から三千円、高橋サキさん(同)から一万円
▽杉本トメさん(同)から二万円
▽札幌内寿会老人クラブへ久保昭子さん(中央町)から二万円、早坂信一さん(新北町)から五万円、山口光春さん(同)から一万円、長谷川ツヤさん(文京町)から一万円
▽浜野日出男さん(春日町)から新和若寿会へ五万円
▽家常武雄さん(旭町)から旭町老友会へ一万円
(九月十八日・十月十九日分)